

## 8. 20 豪雨災害に関するアンケート

単集計結果（無回答を含む）※回答者数747人

当日（8月20日）の様子についてお伺いします。

まず、あなたご自身についてお聞きかせください。差し支えない範囲で結構ですので、回答欄に記入してください。

性別

- 1  1 男性 73%    2 女性 27%

年代

- 2  1 10歳代 0%    2 20歳代 2%    3 30歳代 5%  
4 40歳代 12%    5 50歳代 16%    6 60歳代以上 65%

災害発生時に居住していた地域（小学校区）に○をつけてください。

- 3 安佐南区 （ 梅林 5% ・ 八木 10% ・ 緑井 7% ・ 長東西 7% ・ 山本 14% ）  
4 安佐北区 （ 大林 11% ・ 三入 16% ・ 三入東 2% ・ 可部 22% ・ 可部南 6% ）

世帯構成（あなた(記入されているご本人)を除いたご家族の構成を記入してください)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
5	人	人	人	人	人	人	人	人

8月20日（水）の午前2時から4時頃、あなたはどこにいましたか。

- 6  1 自宅または自宅付近 95%  
2 自宅のある広島市内にいた 4%  
3 自宅のある広島市とは別な場所（市外）にいた 1%  
4 覚えていない 0%

今回の災害で、ご自宅には何か被害がありましたか。以下の中で当てはまるものがあれば、表中の数字に○をつけてください。

		あった	なかった	※無回答
7	1. 住居の床下まで浸水した	1 12%	2 54%	34%
8	2. 住居の床上まで浸水した	1 7%	2 59%	34%
9	3. 住居のある敷地内に土砂が入り込んだ	1 17%	2 46%	37%
10	4. 住居の中まで土砂が入り込んだ	1 9%	2 57%	34%
11	5. 住居の一部または全部が壊れた	1 7%	2 59%	34%

12

今回の災害で、あなたご自身、又はご家族は、避難しましたか。

（ここで「避難」とは自宅から安全な他の場所へ移動することのほか、自宅の上階などに移動した場合も含まれます。）

- 1 自分も家族も避難した（単身世帯で避難した場合も含まれます） 20%
- 2 自分は避難していないが、家族の中に避難した者がいる 4%
- 3 自分は避難したが、家族の中に避難していない者がいる 2%
- 4 自分も家族も避難していない 72%
- 5 自分も家族も当日は自宅にいなかった 1%
- 6 覚えていない 1%

あなたご自身、又はご家族が避難した方（前問の回答が、1番、2番、3番の方）にお尋ねします。（188人）

どこへ避難しましたか。次の中から、該当するものに○をつけてください。複数の場所に避難された場合は、複数の場所について「避難した」に○をつけてください。

		避難した	避難していない	※無回答
13	1. (自宅以外の)指定された避難場所（小学校、公民館等）	1 45%	2 14%	41%
14	2. (自宅以外の)指定された避難場所以外の避難場所	1 10%	2 15%	75%
15	3. (自宅以外の)親戚、知人の自宅	1 29%	2 7%	64%
16	4. (自宅以外の)その他の建物内	1 7%	2 16%	77%
17	5. 自宅の上階など	1 26%	2 9%	65%

18  **避難した方にお尋ねします。(188人)**  
 最初に避難を始めた時刻は、いつ頃でしたか。1つだけ選んでください。

- 1 8月19日中 4%
- 2 8月20日午前0時過ぎから2時までの間 3%
- 3 8月20日午前2時過ぎから4時までの間 30%
- 4 8月20日午前4時以降 55%
- 5 覚えていない 1%

※無回答 7%

19  **避難した方にお尋ねします。(188人)**  
 避難を始めた理由は何ですか。**決め手となった理由**と、**2番目の理由**をそれぞれ一つ選んでください。  
 (あなたとご家族で異なる場合は、一番初めに避難した人についてお答えください。)

- 20  2番目
- 1 自宅が浸水したり、土砂が入り始めたから 15%
  - 2 自宅の周辺が浸水したり、土砂が流れたりしていたから 34%
  - 3 自宅付近の雨の降り方や川の水位を見て 19%
  - 4 テレビやインターネットで雨量や水位などの情報を見て 5%
  - 5 ゴーという地鳴りなど土砂災害の前兆現象があったから 7%
  - 6 近所の人や消防団員などに避難をすすめられたから 12%
  - 7 安全に避難することができるようになったから 12%
  - 8 市からの災害に関する注意喚起や自主避難の呼びかけから 6%
  - 9 避難勧告が出たから 22%
  - 10 近所の人や消防団員などに避難をすすめられたから 19%
  - 11 生命の危険を感じたから 21%
  - 12 その他 ( 9% )
  - 13 覚えていない 1%

※無回答 4%

※1番目と2番目のいずれかで選んだ人の割合

21  **避難しなかった方にお尋ねします。(540人)**  
 避難しなかった理由は何ですか。**決め手となった理由**と**2番目の理由**をそれぞれ一つ選んでください。

- 22  2番目
- 1 自宅が浸水したり、土砂が入ったりしなかったから 30%
  - 2 自宅周辺が浸水したり、土砂が流れたりしていなかったから 35%
  - 3 自宅付近の雨の降り方や川の水位から安全と判断したから 21%
  - 4 テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から安全と判断したから 5%
  - 5 近所の人や消防団員などに避難をすすめられたから 11%
  - 6 市からの災害に関する注意喚起や自主避難の呼びかけを知らなかったから 10%
  - 7 避難勧告が出たことを知らなかったから 14%
  - 8 誰からも避難をすすめられなかったから 7%
  - 9 避難する方がかえって危険だと思ったから 28%
  - 10 浸水しても2階などに逃げればよいと思ったから 10%
  - 11 動きのとれない家族がいたから 1%
  - 12 その他 ( 15% )
  - 13 覚えていない 1%

※無回答 12%

※1番目と2番目のいずれかで選んだ人の割合

23

全国各地の現在の雨量（〇〇時現在××観測所で〇〇ミリ、などの情報）や気象注意報等の情報をインターネットや携帯電話（スマートフォンを含む）で見ることができますが、今回の災害時にこれらの情報を見ましたか。

- 1 インターネット・携帯電話（スマートフォンを含む）のいずれか、または両方で見た 28%
- 2 見ることができることは知っていたが、見なかった 36%
- 3 そのような情報を見ることができるとは知らなかったので、見ていない 27%
- 4 見たか、見なかったか、覚えていない 3%

※無回答 6%

24

今回の災害で、避難する、避難しないを決める際に、お住まいの地域の現在の雨量や気象注意報等に関する情報を入手し、参考にしましたか。情報の入手先はテレビ、インターネット、防災情報メール、防災行政無線など全てを含みます。

- 1 情報を入手し、参考にした 47%
- 2 参考にしたかったが、どこに情報があるのかわからなかった 18%
- 3 参考にしようとは思わなかった 22%
- 4 覚えていない 6%

※無回答 7%

25

前の質問で、「1 情報を入手し、参考にした」又は「3 参考にしようとは思わなかった」と回答した方にお聞きします。 (513人)

「1 情報を入手し、参考にした」と回答された方にお聞きします。(350人)

その情報はどこ（何）から入手しましたか

- 1 防災情報メール 26%
- 2 防災行政無線 26%
- 3 その他（ 45% ）

※無回答 3%

「3 参考にしようとは思わなかった」と回答された方にお聞きします。(163人)  
それはなぜですか（ ）

26

市が 19 日の 21 時 50 分、20 日の 1 時 32 分に防災情報メールで、19 日の 22 時 00 分に防災行政無線で「早めの避難（避難準備情報）」を呼びかけていますが、あなたはこの時の情報により避難しましたか。

- 1 情報を知り、避難準備を始めた 1%
- 2 情報を知り、避難した 1%
- 3 情報を知ったが、避難準備も避難もしなかった 20%
- 4 情報を受けとっていない 47%
- 5 「早めの避難（避難準備情報）」を知らない。 19%

※無回答 12%

## あなたの災害に対する考えをお伺いします。

このたびの災害が起こる前には、あなたがお住まいの地区は、次に挙げるような災害に対して安全だと思っていましたか。

		安全	まあ安全	やや危険	危険	わからない	
27	地震	1 7%	2 41%	3 21%	4 14%	5 13%	4% ※無回答
28	大雨・洪水	1 12%	2 35%	3 28%	4 20%	5 4%	1%
29	がけ崩れ・土石流	1 16%	2 29%	3 24%	4 23%	5 5%	3%

地域での防災については、いくつか異なった考え方があります。以下ではいくつかの論点について、それぞれ二つの考え方を挙げます。どちらかと言えば、「1」と「2」のどちらかに賛成されますか。どちらか一方をお選び下さい。

- 30  **避難勧告や避難指示について**
- 1 避難勧告や指示は、「空振り」に終わってもよいから、できるだけ積極的に出すべきである。 **79%**
  - 2 避難勧告や指示は、「空振り」が多くなることはかえって悪影響を残すと思うので、できるだけ慎重に出すべきである。 **19%**
- ※ ここで「空振り」とは、避難勧告等が出されたが、結果的に何も被害が発生しなかった状態を指します。
- ※無回答 2%**

- 31  **避難の判断について**
- 1 避難を開始するタイミングは、最終的には住民が判断すべきであり、行政の仕事はそれをサポートすることである。 **59%**
  - 2 避難を開始するタイミングを住民が判断することは難しいので、行政が責任をもって判断すべきである。 **38%**
- ※無回答 3%**

災害発生以前に、あなたのお住まいの地域のことで、災害と関連しそうなことから祖先からの言い伝え等でお聞きになっていたことがあれば、それをお教え願います。

32

今回の大雨による災害の経験を踏まえて、あなたご自身が考えたこと、地域全体にとっての教訓にすべきだと思うことや、今後考えなければならないと思うことがあれば、それをお教え願います。

33

今後の対策についてのご意見等がありましたら、それをお教え願います。

34

次ページからは防災関係（自主防災会・消防団等）の方々への質問となります。防災関係以外の方へのアンケートは以上となります。

ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

**このアンケート用紙を返信用封筒に入れてお送りください。**

防災関係の方は次のページへ

ここからは、防災関係（自主防災会・消防団等）の方にお伺いします。

回答者数：323人

35  あなたの所属されている先を教えてください

- 1 自主防災会 79%
- 2 消防団 21%
- 3 その他 ( )

あなたは所属団体でどのような災害時の役割をお持ちですか  
(例：情報収集伝達など)

36  (役割を記入してください)

37  今回の災害のように、深夜に豪雨が降るといふ最悪のケースのなか、避難の呼びかけなどの防災活動が実行できたと思いますか。

- 1 実行できた 4%
- 2 実行できたと思う 13%
- 3 実行できなかった 78%
- 4 わからない・覚えていない 4%

※無回答 1%

38  実行できなかった場合、その理由はなぜでしょうか (253人)

- 1 身の危険を感じ、家の外にでることができなかった。 30%
- 2 自分が避難するのがやっとだった 2%
- 3 停電等で電話が使えなかった 7%
- 4 必要な情報が入手できなかった 33%
- 5 その他 25%

※無回答 3%

39  活動するに当たり、市または所属団体から必要な情報が伝達されてきましたか

- 1 伝達された 35%
- 2 伝達されなかった 52%
- 3 わからない・覚えていない 12%

※無回答 1%

40  **伝達された方にお尋ねします。(112人)**  
 その情報はどのような手段で伝達されてきましたか

- 1 電話（固定電話、携帯電話）（音声） 40%
- 2 携帯電話（スマートフォンを含む）・パソコンのメール 29%
- 3 その他（ 19% ）

※無回答 12%

41  **伝達されなかった方にお尋ねします。(167人)**  
 その情報は普段どのような手段で伝達されることになっていますか

- 1 電話（固定電話、携帯電話）（音声） 50%
- 2 携帯電話（スマートフォンを含む）・パソコンのメール 11%
- 3 その他（ 22% ）

※無回答 17%

42  **1 番目**  
 あなたが防災活動を行うに当たり、どういった情報があれば活動しやすいですか。まず真っ先に必要と思われる情報と2番目に必要な情報を記入してください。

43  **2 番目**

- 1 気象情報 33%
- 2 避難準備情報や避難勧告などの情報 70%
- 3 避難情報（避難所の開設状況など） 45%
- 4 被害状況（土砂崩れなど） 40%
- 5 その他（ 3% ）

※1 番目又は2 番目のいずれかで選んだ人の割合

**地域において防災活動を行う上での課題は何だと思われますか（自由記述）**

44

**その他ご意見がありましたら、ご記入下さい（自由記述）**

45

**アンケートは以上となります。**

**ご協力をいただき、本当にありがとうございました。**

**このアンケート用紙を返信用封筒に入れてお送りください。**